

しんろ 進路だより

くぼちゅうがっこう ねん
久保中学校3年

2025.5/9

No.7

こう こう しょうかい

高校紹介 パート③

くぼちゅう
久保中からたくさんの卒業生が通っている松阪市内および近隣の高校を進路だよりで紹介しています。
こんかい まつさかしょうぎょう
今回は松阪商業です。



まつさかしょうぎょうこうこう 松阪商業高校

まつさかしょうぎょう ぜんこく はじめて「たんいせい」を導入した専門学科の高校です。「単位制」の良さは生徒一人ひとりの進路・興味・関心・適性に応じて多様な科目選択ができることです。入学後に商業・情報の専門を選択して就職・進学をめざす総合ビジネス科と商業と英語活用能力を伸ばしながら、就職・進学をめざす国際ビジネス科があります。どちらの学科も、単位制の特徴をいかして、興味や関心、進路を実現するための選択科目を選ぶことができます。たとえば、就職を目指して資格・検定にたくさん挑戦したり、看護学校へ進学するために理科や数学を学んだり、経営・経済・社会科学系の大学進学をめざして英語や国語、社会を学習したりと、必要な科目を組み合わせることができます。進路目標と学習計画を立てて、学科の特徴的な学びと、自分自身が必要となる勉強を組み合わせることができます。

◎総合ビジネス科の特色…「商業に関する知識・技術を習得し、地域社会で活躍できることをめざす商業学科」ビジネスの基礎を学び、マーケティング・マネジメント分野、会計分野及び情報分野の専門性を身につけ、商業と情報に関する知識・技術を習得し、企業や組織の一員として活躍する人材を育成します。検定試験では、簿記検定、ビジネス文書実務検定、商業経済検定といった商業の各種検定と、情報分野では、情報処理検定[ビジネス情報部門・プログラミング部門]に加えて、IT パスポート、基本情報技術者といった国家試験に取り組みます。



◎国際ビジネス科の特色…「商業に関する知識・技術を習得し、グローバル社会で活躍できることをめざす商業学科」グローバル人材として必要な実践的英語力、異文化理解力を身につけ、会計分野、情報分野の専門性を有する人材を育成します。英検対策講座を受講することで、実用英検の準2級～2級、それ以上のレベルにもチャレンジできます。商業・情報の検定試験では、簿記検定、ビジネス文書実務検定、情報処理検定[ビジネス情報部門]、IT パスポート試験(国家試験)に取り組みます。



まつしょう ちゅうがくせい 松商から中学生のみなさんへ



三重県の高校から全国に広がりつつある活動に SBP がある。SBP は「Social Business Project (ソーシャルビジネスプロジェクト)」の略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取り組みです。具体的には高校生が地域資源(ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等)と交流し、見直し、活用して「まちづくり“や”ビジネス」を提案していく、そしてその取組を地域で応援し支えていこうというものです。

地元では松阪のことを「まっさか」とか「まっつあか」と呼びます。その「まっつあか」で地域を元気にする未来の大人を育成するため、『現代の松阪商人になる!』という目標を掲げて活動しているのが三重県立松阪商業高等学校SBPです。現在の三井物産、三越伊勢丹などの三井グループは、松阪が発祥の地で、松阪商人は全国各地で活躍されています。ビジネスの第一線でも活躍されている「プロ」の方々に協力していただきながら、松阪商業SBP が全国の商業高校のモデルとなれるように頑張りたいです。さらに、全国SBP のネットワークを活用した高校生による地域商社の立ち上げを目指しています。

○学校の特色

「正解のない課題に対して、教科書の枠にとらわれない問題解決型の学習を行います。ICTを活用して、世の中を知り、思考を深め、周囲と協働しながら、現代社会で生きる力をはぐくむビジネス探究プログラムを、3年間かけて実践しています。

○「DX加速化推進(DX ハイスクール)事業」の取組

令和7年度入学生において、新たに商業科学校設定科目「デジタルリテラシー(学)」を設置します。1年次に情報処理、2年次に商業科目「情報探求(学)」と「プログラミング」を履修するとともに、新たに学校設定科目として設置する「デジタルリテラシー(学)」を履修することで、DX社会に参画するために必要な技術を身につけます。

◆部活動

豊かな人間性を育むとともに自己研鑽の場として、部活動にも積極的に取り組んでいます。現在、運動部9、文化部11、同好会2 が活動しています。もっと詳しく知りたい人は、松阪商業高校HPを見てください。